



# 歴史の道

## 国史跡

# 大口筋 白銀坂

おおぐちすし

しらかねさか

白銀坂は、鹿児島県始良市脇元から鹿児島市宮之浦町までの石畳の残る旧街道です。この旧街道が通る山並みは、古代における薩摩国(鹿児島市側)と大隅国(始良市側)の国境でした。また、戦国時代には、島津貴久や島津義弘などの武将たちがこの坂に陣を構えたといわれています。

江戸時代に入ると、白銀坂は鹿児島藩の主要街道である「大口筋」として整備され、藩内唯一の難所として人々に知られていました。

「大口筋」とは、鹿児島城下から重富-帖佐-加治木-横川-大口-「亀坂峠」(熊本県)まで、全長約70kmの街道を指します。始良市加治木町の「龍門司坂」(国指定史跡)にも切り石を敷きつめた石畳が残っています。白銀坂と龍門司坂は、平成18年7月28日に国史跡に指定されました。

## 白銀坂の保存と活用

鹿児島県教育委員会によって、平成5年度に歴史の道「大口筋・加久藤筋・日向筋」の調査が実施され、平成8年度には整備案の「総合計画報告書」が刊行されました。

白銀坂は、明治以降次第に人々の記憶から忘れ去られ、長年の風水害によって石畳も大変傷んでいましたが、始良町教育委員会では、歴史的に貴重なこの古道をできるだけ保存しながら、歴史を体感し活用できる史跡として整備することにしました。文化庁や県の協力をえて、「歴史の道白銀坂整備活用推進事業(整備)」を平成8年度から15年度までの8年間かけて終了することができました。

今後、多くの皆様がこの古道を利用され、往時の街道の姿を想像し、往来した人々に思いをはせて、歴史の道を体験されるよう希望します。

## 国土交通省歴史国道の選定

平成7年6月20日、白銀坂は歴史上の幹線街道の中で、特に重要な歴史的・文化的価値を持つ道路として、国土交通省から「歴史国道」の選定を受けました。

鹿児島県国道事務所では、山麓の国道10号交差点角に、利用者の利便を図るため、白銀坂の専用駐車場とトイレを設置し、平成10年2月から供用開始しています。



## 交通案内 (●白銀坂駐車場まで)

- 電車 日豊本線 JR重富駅下車 徒歩10分
- バス 重富バス停下車5分
- 車 九州縦貫自動車道始良インターチェンジから 10分
- 鹿児島市役所前から 25分 鹿児島空港から 30分



編集 歴史の道 白銀坂リーフレット(改訂版)  
鹿児島県始良市教育委員会 TEL0995-65-1553  
〒899-5421 鹿児島県始良市東餅田498



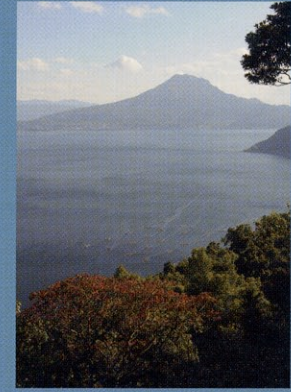
近世主要街道

『鹿児島県史』によれば、江戸時代には「大口筋」の他に「出水筋」・「高岡筋」の街道があり、「これらにより、大阪・江戸へ連絡するには、通常、出水筋・大口筋では豊前小倉に、高岡筋では日向(宮崎)細島に出て、ともにそれより海路を取る」とあります。

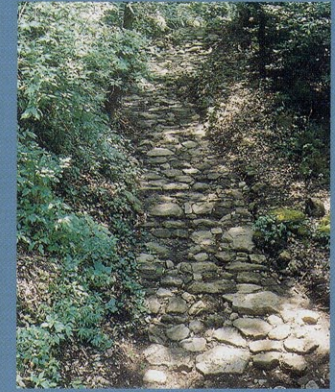
「出水筋」は別名「西目筋」ともいい、鹿児島一水上坂-横井野町-伊集院-苗代川-市来湊-串木野-高城-阿久根-野田-出水-米ノ津-野間の関と続き、肥後(熊本)との国境「境橋」までの約百kmの道のりです。現在の国道3号にほぼ沿った旧街道です。

「高岡筋(または日向筋)」は、加治木麓の網掛川で大口筋と別れ、ほぼ現在の国道10号に沿って走っていました。高岡とは今の宮崎市高岡町のことです。江戸時代に高岡郷は薩摩藩領であり、去川の関が置かれ、鹿児島城下からの距離は約百kmありました。

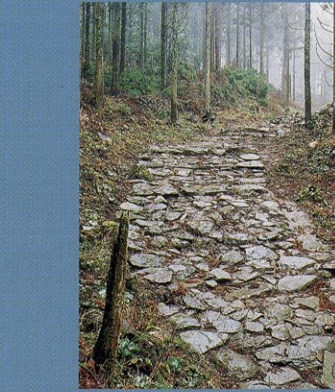
「加久藤筋」は、横川で大口筋から別れ、湧水町・えびの市(宮崎県)へ向う旧街道です。えびの市は江戸時代には薩摩藩領となっていました。



JTの森からの桜島眺望



整備された石畳(平成13年度)



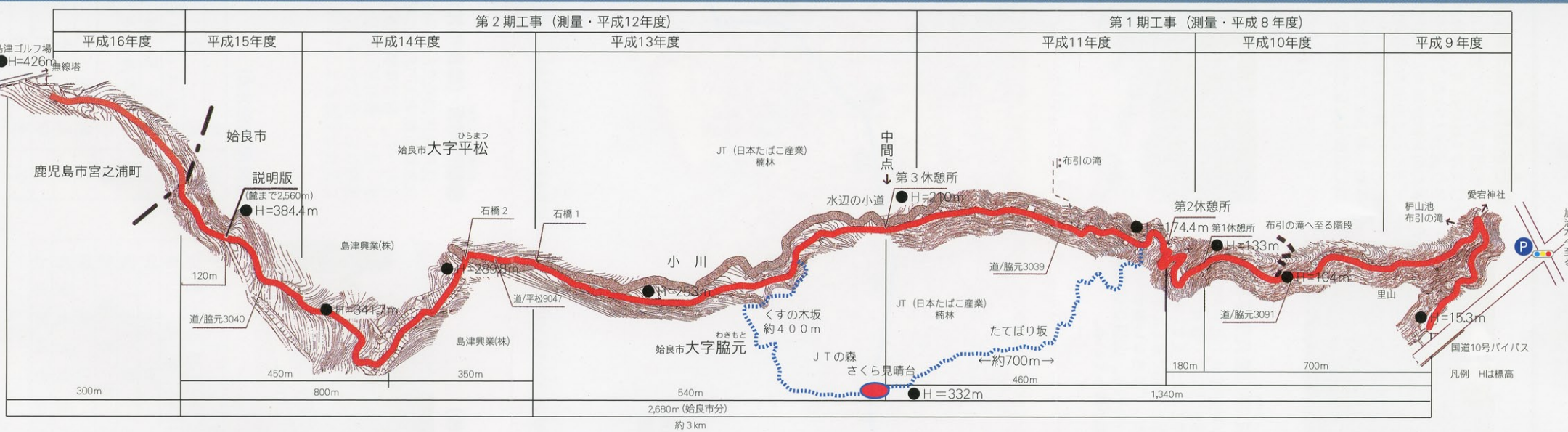
整備された石畳(平成13年度)



矢穴の残る自然石(平成13年度)

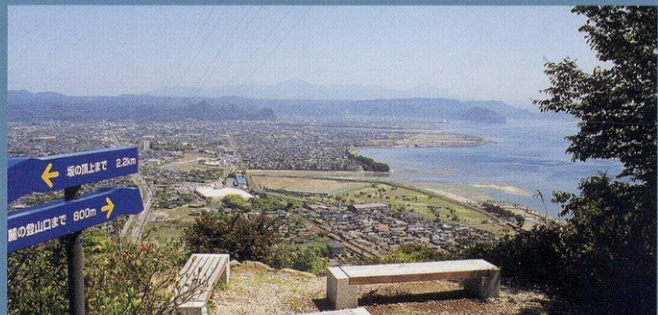


大口筋白銀坂のルート(重富より吉田・鹿児島を望む)



説明板の設置

第3休憩所 ほぼ中間点にベンチ2基があり、近くの小川が疲れを癒してくれる。



第2休憩所 ここでは始良市の市街地が一望でき、はるかに霧島連山の遠望を楽しめる。



白銀坂登山口の石柱

歩き・み・ふれる歴史の道 史跡めぐり風景



◆主な史跡

①鶴丸城跡 (鹿児島市)

鹿児島城山の麓に作られた屋形造りの近世薩摩藩島津氏の居城である。工事は慶長6(1601)年から始まり、慶長末年には完成したと考えられる。

現在、本丸跡は県歴史資料センター黎明館、旧二之丸跡は県立図書館となり、天明5(1785)年に拡張された二之丸跡には市立美術館が建っている。



③牟礼ヶ岡の牧神 (鹿児島市)

標高552mの牟礼ヶ岡の山頂には、周囲13m・高さ5mの巨岩があり、マッグンサー(牧神様)として祭られている。江戸時代、この一帯には「吉野牧」という広大な藩の牧場があり、春には盛大な「馬追い」も行われていた。

③布引の滝 (始良市脇元)

旧県道(麓重富停車場線)の柵山バス停から山手へ坂を上りつめると柵山池へ着く。ここから小川沿いに上流へ進むと一条の滝が見えてくる。白銀坂を登った吉野台地を源流とする滝である。高さ約20m、幅2mあり、別名白銀の滝とも呼ばれる。布引とは白い反物を肩から足元へ広げた様子から名づけられた。



③御石山 (始良市脇元)

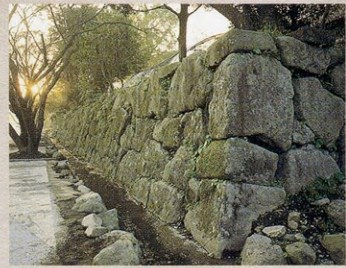
島津歳久は、兄義久・義弘とともに活躍した武将である。文禄元年



(1592)、歳久は豊臣秀吉の怒りを受け、宮之城への帰路、竜ヶ水の心岳寺(現平松神社)の地で家臣とともに自害した。この地の井戸水で歳久の首は清められ、後に石塔が建てられたため、「御石山」と呼ばれるようになった。

④平松城跡石垣 (始良市平松)

平松城は現在重富小学校となっている。岩剣城合戦後、島津義弘は岩剣城の城番を勤めるが、山頂では不便なため、麓に石垣をめぐらした館を築いた。江戸時代中頃、この地には重富領主となった越前島津氏の館が築かれ、北側には新しい麓集落が作られた。



④岩剣城跡 (始良市平松)

岩剣城は戦国時代の代表的な山城である。蒲生方により享禄2(1529)年頃に築城された。天文23(1554)年には島津氏との間で激しい戦いが行われ、伝来してまもない鉄砲が使用されたといわれる。山頂には曲輪や土塁、空堀が残っている。

⑤御屋地跡 (島津義弘館跡) (始良市鍋倉)

戦国武将として活躍した島津義弘は文禄4(1595)年、栗野から帖佐に移り、新たに宇都に居館を築いた。家老の新納旅庵が工事の監督をし、石垣の石は加治木の湯湾岳から運んだという。義弘は慶長11(1606)年平松へ移るまでこの館に住んだ。跡地には義弘公記念碑が建っている。



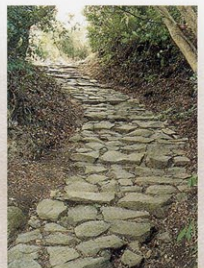
⑥加治木島津家屋形跡 (始良市加治木町)

慶長12(1607)年、島津義弘は帖佐・平松からこの館へ移り住み、元和5(1619)年に亡くなっている。本来の館は柵城小学校・加治木高校・図書館・於里集落を含む約5haであった。現在護国神社の境内となっており、島津義弘公薨去の碑が建っている。



⑥白銀坂の石畳 (始良市脇元)

鹿児島市側の多くは道路改修により消滅し、現在始良市側の約2.6kmが往時の面影をとどめている。古い石畳は幅2m前後、急坂部を中心に1km以上残っている。敷石には山中の自然石を用いている。



④脇元浦 (始良市脇元)

薩摩藩では漁村を浦浜と呼び、脇元浦は漁業と行商で生活し、藩の水夫にも徴用されていた。大口筋(旧国道)沿いには、短冊形の古い町割(区画)が名残をとどめている。江戸後期には定期的に市も開かれ、交通の要衝として繁盛していた。



④越前(重富)島津家墓地 (始良市平松)

ここには越前島津家の菩提寺であった三祖院紹隆寺が建立されていたが、明治初年の廃仏毀釈によって寺は壊され、今は墓地のみが残っている。墓地には16代島津忠紀以下の歴代当主とその家族(33墓)が葬られている。



⑥龍門司坂 (始良市加治木町)

江戸時代の元禄6(1741)年、加治木領主島津久門の時に現在の石畳となった。石は東隣の樋の迫山から切り出し、長方形に加工してある。道幅は広い所で6mあり、平成18年に国指定史跡となっている。



鹿児島市

番号	文化財名称	11	別府晋介誕生地	21	帯迫鎮守神社
1	鶴丸城跡	12	桐野利秋誕生地	22	御石神社と御門の井戸址
2	たんだ番所跡	13	実方神社	23	御召覧ヶ岡
3	智恵光院跡	14	実方の馬頭神社	24	薬師サー
4	光明寺(琉球寺)跡	15	疎水溝	25	菖蒲谷の二十三夜待塔
5	たんだの石切場	16	薬師山墓地の阿弥陀三尊と庚申供養塔	26	笠跡(吉野牧の馬追い)
6	名越殿の坂と湧水地	17	徳源サー	27	関屋谷古石塔群
7	橋之口城の切通し跡と東坂元の板碑	18	礫者坂入口の湧水地	28	関屋谷のかくれ念仏(ローソク講)
8	実方太鼓橋跡	19	宮之城島津家墓地と献燈第十二郷校	29	関所跡と石の水槽
9	平田可竹庵跡	20	吉野薬園跡とアキニレの木		
10	御内用方の跡				

30	馬頭観世音・彦山神社
31	岩木橋と二軒茶屋
32	牟礼ヶ岡二十三夜待塔馬頭観音と火の神
33	知識兼雄の墓
34	三里塚・赤滝六地藏尊
35	牟礼ヶ岡の牧神

始良市(旧始良町)

36	白銀坂	46	並木
37	石橋	47	島津忠将の供養塔
38	布引の滝(白銀の滝)	48	新納旅庵の墓
39	御石山	49	岩淵水神
40	脇元浦	50	御屋地跡
41	帖佐人形	51	総禅寺墓地
42	平松城跡	52	米山薬師
43	岩剣城跡	53	八幡神社大銀杏
44	越前(重富)島津家墓地	54	天福寺跡磨崖仏
45	岩剣神社の太鼓橋		

始良市加治木町

56	後藤塚	67	龍門司坂
57	網掛橋	68	長年寺跡
58	加治木銭鑄銭所跡	69	実窓寺蹟
59	欄干橋擬宝珠	70	岩屋寺跡
60	加治木島津家屋形跡	71	木田の田の神
61	春日大明神	72	宝現大明神
62	南浦文之墓	73	里標
63	加治木城跡	74	本誓寺墓地・東楽寺墓地
64	龍門滝	75	能仁寺跡(加治木島津家墓地)
65	金山橋	76	日木山洞窟